**第５８回登別市市民自治推進委員会　育み部会議事録**

（敬称略）

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日時 | 令和３年１２月２０日（月）１８時００分～ |
| 開催場所 | アーニス　２階　あえるSTATION |
| 出席者 | （部会長）　　神谷博達（副部会長）　安宅錦也（部会員）　　仲川弘誓、合田美津子、佐藤文子、大坂倫一（読書活動家）松山哲男、高木三千子、須藤和恵、武者正樹、　　　　　　　河上邦子（庁内委員）　近藤正嗣（事務局）　　大越智輝、佐々木健、相馬杏 |
| 欠席者 | （部会員）　　磯田大治（読書活動家）松平孝子（庁内委員）　重山大介 |
| 議題 | 育み部会絵本コーナーについて |
| 配布資料 | 第５８回「育み部会」資料（部会長作成）はじめてのよみきかせ（高木氏作成）第１回絵本コーナー開催時の写真、担当者のアンケート　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（事務局作成） |

※読書活動家の方々にもご参加いただき、育み部会絵本コーナーについて協議した。

○会議の要点

（１）育み部会絵本コーナーについて

①１２月１８日（土）第１回絵本コーナーの振り返り

・当日はＥＨＯボラの方を合わせ１６名のスタッフの方にお越しいただいた。

・部会員の方がうさぎの着ぐるみを着て、アーニス館内で絵本コーナーの宣伝を行った。その際に、一緒にＥＨＯボラの方が、サンタの衣装を着て風船のプレゼントをしていた。プレゼントをもらいに来たお子さんが親御さんを連れてきて、絵本コーナーをアピールすることができ、非常に効果的だった。そのおかげで絵本コーナーに足を運んでくれた親子がいた。

・館内にいるお客さんに声をかけないと、絵本コーナーに来てもらうことは難しいと感じた。

・絵本コーナーを開催し、２組ほどの親子が来場し、ＥＨＯボラの読み聞かせが行われた時間が一番来場者が多かった。ＥＨＯボラの読み聞かせが終わった１５時頃には来場者は誰もいない状態だった。

・第１回絵本コーナー開催時に行ったＥＨＯボラの皆さんによる読み聞かせが大変効果的なため、次回の絵本コーナーでも開催は可能か。

→また出番があれば読み聞かせを行う可能性はある。

〈ＥＨＯボラの読み聞かせを行って〉

・絵本コーナー開始時に、アーニス１階でコンサートのようなイベントが行われていた。１階の音が２階の絵本コーナーまで聞こえていたので、事前に時間帯がわかっているものについては、事前調整をするべき。

・せっかくコンサートを見ていたお客さんに、絵本コーナーの宣伝をしようと思っていても、できる状況ではなかったため、イベントが重なっている場合は事前にアーニスとも調整を行うべき。

・今回事前にＥＨＯボラの方でも、当日読み聞かせ予定の絵本のポスターをアーニスの事務局に掲示を依頼したが、残念ながら掲示されることはなかった。今までＥＨＯボラの読み聞かせをする際は、ポスターの掲示や館内放送で読み聞かせの時間などを案内してもらっていた。これについては周知の徹底をするべき。

・風船など来場者へのプレゼントについては、配布によって会場に足を運んでいただいた方もいたので良かったと思う。

・今回は風船のプレゼントを先に渡し、風船が伸びてしまったりしたため、最後にプレゼントを渡す方が良いと思う。

・読み聞かせする絵本によって、プレゼントを折り紙などにするのも良いかと思う。

・読み聞かせの本について、どの年代のお子さんが来場するか当日までわからないため、事前に絵本を選択することは非常に難しい。

〈ＥＨＯボラの読み聞かせについては以上。〉

・当日アーニス事務局長より、イベントを行っているから人が来ていると言われ、何かイベントがないと人がもっと少ない可能性はあると思った。ただ、重なりは良いとは言えない。

→アーニス事務局長によると、イベントを同時刻に開催することは初めての試みで、相乗効果を図りたいと今回実施したとのこと。

・絵本コーナーは無理がないよう始めるということだったので、何が成功ではなく、長い目で見て続けることが大切。

・場所の認知について、何年も前から同じ場所でイベントは行っているが、場所があまり知られていないのが現状。どのように認知度をあげていくか、このことについてそれほど注目すべきものではないのか。絵本コーナーを開催し続けることで見えてくものだと思う。

・市立図書館アーニス分館も、当初の認知度は低かったが、年数と共に認知度も高くなっていった

・第１回目のため比較することは難しい。回数を重ね見えてきたものを整理していく進め方で良いのでは。

・周知について、マスメディアを利用し、こまめに周知を行うようにするべき。

・ＥＨＯボラの読み聞かせが終わった後、来場者が来なかった。絵本コーナー開催の時間帯に工夫が必要。昼寝の時間などがあるため、午前中の開催や、午前・午後に分けての開催を検討すべき。

・今回ＥＨＯボラの読み聞かせでは、楽器の音や音楽が流れていて良い空間になっていた。今後もＢＧＭなど音が流れる工夫があっても良いと思う。

→ＢＧＭについて、次回は読書活動家の方にお借りしたものを使用し、ＣＤプレーヤーは、事務局が用意したものを使用することとした。

・今回のＥＨＯボラによる読み聞かせは、第１回絵本コーナーのオープニングには非常に良かった。ただ、これから絵本コーナーを継続していくことを考えると、静かな空間で普通の読み聞かせとのバランスが重要。

・途中から来場されたお客さんは、ここが絵本コーナーという認識がなく、読み聞かせを聞きに来たという感覚だったのではないかと思う。そのため絵本の読み聞かせが終わると帰ってしまった。バランスが重要である。

・１２時頃のアーニス館内には、親子の姿が見られたため、絵本コーナー開催の時間帯に工夫が必要。

→当初予定していた１月・２月の残り２回については、読書活動家の皆さんがイベントを予定しているため、予定通りの時間で行い、それ以降は開催時の様子を見て協議していく。

・次回令和４年１月１５日（土）の絵本コーナーでは、おはなしりぼんの方が読み聞かせを予定しており、時間帯は決めずに状況を見て行う。

・今回の反省を踏まえ、事前に音が出るようなイベントがアーニスで行われるか確認を行う。

・読み聞かせを行う絵本の事前周知について、次回は行わず、来場された子どもの状況をみて、絵本を選び読み聞かせを行うこととする。

・当日の館内放送について、調整がつくのであれば、直前に読み聞かせとしての館内放送を行ってもらう。

・次回の絵本コーナー開催時も着ぐるみを用意することは可能。

・来場者へのプレゼントについては、事務局で協議することとした。

・絵本コーナー開催時のスタッフの人数についても、多すぎず絵本コーナーの空間に合った人数で行う。

・次回予告のリーフレットを会場で配ることも効果的。

→既存のリーフレットを参考に事務局で作成。

・アンケートの取り扱いについて工夫が必要。来場者名簿もお子さんを連れての記入は難しいと感じた。アンケートの記入はあくまで自由に記入するものとし、状況を見ながらご協力いただく。

（２）その他

・絵本コーナーの名称について、まずは予定している３回実施し、その後名称を決めていくことで良いと思う。

・家庭で読み聞かせを行わない方に、絵本コーナーに来て絵本を読んでもらうには工夫が必要である。ただ絵本があるだけではなく、今回のＥＨＯボラの音楽を使った「音楽と絵本」のように、絵本プラス工作や講話などの工夫が必要である。

・絵本コーナーだけではなく、絵本コーナーを舞台に読書を広める活動を行うことが目的である。市民の皆さんに親しみやすい愛称を考えていく。

・部会員と読書活動家の方が絵本コーナーの取組について、情報交換を行っている。その中で愛称についても協議を行い、次回以降の部会で報告する。

（３）次回の育み部会について

　　日時：令和４年　１月２４日（月）１８：００に開催

　　場所：アーニス２階　あえるSTATION